

文永11年(1274年)、肝付氏四代兼員(かねかず)が次男・兼基にこの土地を与え、「岸良」という地名がつけられた。これは1度目の元寇の年であり、鎌倉幕府に従い沿岸警備を強化するためであったと考えられる。その後、岸良氏は海岸を一望できる山に居を構え(=城山)、やがて島津氏の配下となる。

WC P

起源は不明だが、少なくとも600年前から存在する村社。祭神は金山彦命・大山祇命・猿田彦命。主な行事は盛夏の「ナゴシドン」、正月の「テコテンドン」。

城山

平田神社

校舎の活用策を模索中。現在は辺塚だいたい加工施設と多目的広場がある。

旧校舎

岸良小学校

岸良出張所

岸良地区公民館

P きゃんせの家

「みんなで作る、みんなの家」をモットーに改装進行中の空き家。2019年1月から毎月1回「きしたんカフェ・みんな食堂」を開催中。

北岳 (テコテン山/747m)

正月行事の祭祭り・テコテンの際、山頂にまつられている山の神様を迎えに行く。

西岸寺

デイサービスには立ち寄りOKのテラスやオリジナルグッズがあり、地域にオープンな施設を目指している。

P

P

岸良小中 一貫教育校

小・中の連携、そして地域との連携を強化するため、平成29年度に一貫教育校に移行。合言葉は「花壇づくり」「ウミガメ保護活動」「ムカデ競争」。

肝付町立

岸良唯一のガソリンスタンド。土日はお休み。

マリシ石油

川沿いの松林を復活させるため、学校と地域が「森と木の研究所」の協力を得てクロマツやシャリンバイを植樹した。

ひまわり畑

学校と地域住民らが共に育てているひまわり畑。夏と冬に鑑賞できる。

久保田川堤防

高田の滝

国道沿いに流れる滝。落差約25m。

内之浦地区 高山地区 鹿屋市

国道448号線

県道542号線

の原木

その昔、地主が北岳から移植した山桜。樹齢は約200年と推定されるが、毎年3月後半に純白の花を無数に咲かせるほど元気。車で近くまで行けるが、山道に要注意。

大隅半島東南部固有の香酸かんきつ類の原木の一つ。樹齢推定100年。強い酸味と鮮やかな香りを活かし、昔から食酢代わりに使われていた。近年は地域住民らによって様々な加工品が生まれている。2017年、農水省の地理的保護表示(GI)に登録され、注目度上昇中。

石踊橋

ダム建設前は「石が踊る」ほどの洪水が頻発していた川。ナゴシドンの際には「地はモヨウなり、風なら上を吹け」と唱え、音を立てずに渡らなければならない。

交番

モイドン

水神と祖先霊がまつられている木。以前はナゴシドンの際に立ち寄り、豊作を祈願していた。

きつちゃん広場

NPO法人陸の宝島・岸良の事務所。住民の憩いの場にと、スタッフ在中時はテラス席が解放される。

WC P

浜公園

WC P

住民有志で作ったテラス。土台は改造した小型ボートで、久保田川河口を見渡せる。夜は地域の「飲方(のんかた=飲み会)」の会場になる。

その2

5月はこのぼりが、年末年始は大漁旗がはためく展望所。ハート形の鐘を鳴らすと…? 種子島のロケット打上げを見ることが出来る。

ウミガメが生まれ、旅立つ浜

ゴミも人も少ない岸良海岸は、ウミガメたちにとって絶好の産卵地。5月から6月の深夜に産卵したガメたちの足跡を、昼間に観察することができる。また岸良小中学校では、卵の一部を学校で保護し、孵化するまでの観察や地域住民との放流会を長年おこなっている。

※海水浴場ではありません。遊泳は、自己責任で。

盛夏を彩る伝統行事 ナゴシドン

「夏越祭(夏越の大祓)」が岸良流に変化したもの。毎年8月14日、岸良海岸で神舞奉納と茅繩くくりをおこない、五穀豊稔と地域安泰を祈願する。祭りのシンボル「ハナタゴドン(猿田彦命)」の真っ赤な三体の神面が、青と白の夏色の風景の中に鮮やかに映える。



くわしくは、HP [nagoshidon.com] をご覧ください

岸良 さるくルートMAP

さるって みひける きしたん よかところ

ナゴシドン浜下りコース：片道1.7km・徒歩約20分
平田神社 から シーサイドパーク岸良 まで。
周辺のスポットへも「さるって」みてください！

※小さなPへの観光目的での立ち入りはご遠慮ください。